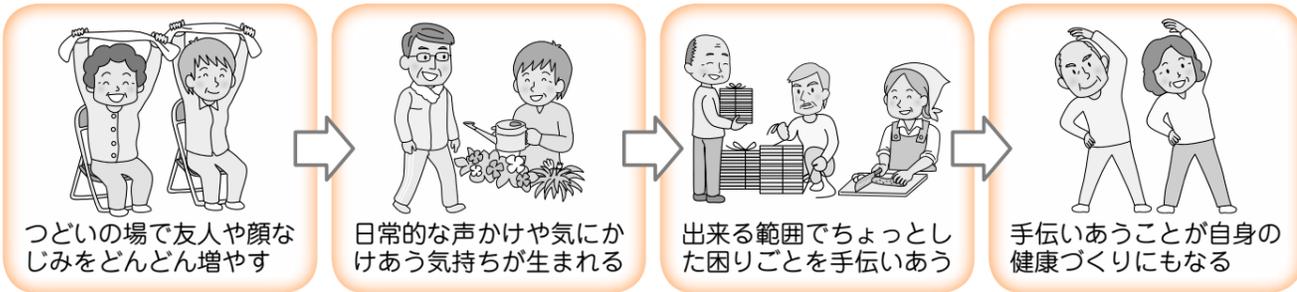


つどいの場で知りあった友人と困りごとを助けあい、
支えあうことも健康づくりにつながるんじゃよ。



地域みんながつながって、支えあうことが、元気でいきいきした暮らしにつながるんだね。



みんなが元気に、いきいきと暮らし続けられる地域をめざして

地域には人と人とのつながりが深まる「地域行事」や「つどいの場」、ご近所づきあいの中で行われている「助けあいや支えあい」、「福祉活動に熱心なグループ」や「困っている人を放っておけない人」など、元気でいきいきとした暮らしにつながる貴重で、かけがえのない『地域のお宝』がたくさんあります。

横手市では、介護予防や支えあいの充実した地域づくりをめざし、生活支援コーディネーターや協議体が、『地域のお宝』の情報を収集・発信しながら、みなさんと一緒に育み、どんどん地域に広がるよう取り組みを進めています。

※『地域のお宝』の情報は協議体のチラシや社協だよりなどで発信していきますので、ぜひご覧ください♪



…………… 問い合わせはこちらまで ……………

横手市役所 市民福祉部 高齢ふれあい課 ☎35-2134
社会福祉法人 横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課 ☎36-5377

みんなで支えあえる地域をめざして



支えあおう

第1号

令和2年
4月発行

生活支援体制整備事業通信

住み慣れた地域で「元気にいきいきと暮らし続けたい」そんな思いを持つ方も多いのではないのでしょうか。その思いを実現していくため、平成27年から生活支援体制整備事業が始まり、生活支援コーディネーターや協議体を中心となって、介護予防や支えあいの充実した地域づくりを進めています。

地域の現状と必要な取り組みについて

まめ子さん、横手市でも高齢化が進んでいることを知っているのか？



まめぞう博士

わがってらんし。でも何にも心配してねんし。デイサービスの車を毎日見るし、私も将来安心してお世話になるんし。



まめ子さん

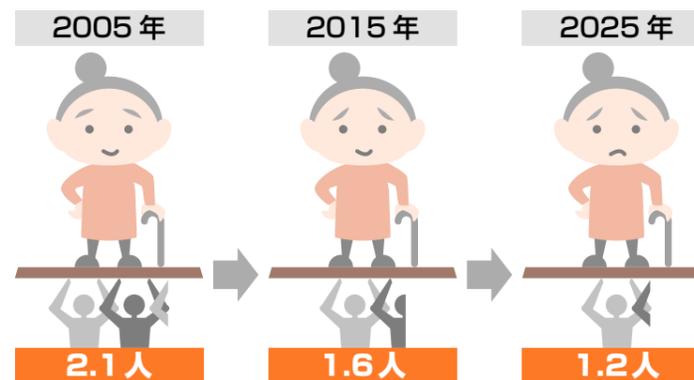
それがそうも言ってもらえんのじゃ。



横手市の高齢者と若者の人口推移と予測 [単位：人]	世代	2005年	2015年	2025年(予測)
高齢世代 (65歳以上)		30,441	32,492	32,950
若者世代 (15歳～64歳)		63,108	52,281	39,423

※参考資料：第5期・第7期 横手市介護保険事業計画 高齢者福祉計画

● 高齢世代を支える若者世代の割合 ●



高齢者は増えているけど、若者はどんどん減っていくんだね。



介護サービスにかかるお金はどんどん増える一方で、サービスを支える若者は少なくなっているんじゃ。



このままでは「税金が増加」したり「サービスが十分に利用できなくなる」かもしれないんじゃ。

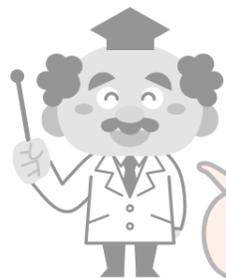
介護サービスが
使えなくなるかも



増税

どうしよう……。まめでら博士、
私たちどうすれば良いの？

まずは自分自身が「元気である」こと、そして、困ったことは地域のみんなで「支えあう」ことが大切じゃ。



そのためには、地域のつどいの場に積極的に
行ってみたいことじゃ。

地域のつどいの場 例1

横手 郷土館一区町内会 花いっぱい運動

毎年春に町内の歩道にプランターを設置し、みんなで花植えを行っています。また、町内を4班に分け、秋まで交代で水やりをします。



雄物川 大沢健康麻雀同好会

お金を賭けない、お酒を飲まない、たばこを吸わない「健康麻雀」を大沢地区交流センターで週に2回行っています。



地域のつどいの場 例2

増田

増田の朝市

毎月下一桁に2・5・9のつく日、朝市通りには青果や衣料品、海産物などが並び、多くの買い物客でにぎわいます。



山内

移動販売車の停留場所

毎週2回、食料品などを積んだ移動販売車が北国の春の音楽と共にやって来ます。買い物を楽しみに、停留場所に人が集まります。



私も時々集まりに参加してるんし。
でもどうして「元気」や「支えあい」につながるんたい？



人が集まる楽しいところにこそ、「元気」や「支えあい」の源が隠れているんじゃ。



つどいの場には 凄い効果があるんです！

- 好きな活動に参加することが、日々の楽しみにつながる。
- 外出することで、足腰が鍛えられる。
- おしゃべりすることで脳の活性化になる。
- 地域のことや便利なサービスなどのいろんな情報を知ることができる。
- 地域に友達や顔見知りが増え、気にかけてあげることや困ったことを放っておけない関係が生まれる。…など

